

＜保育士の資質向上を図る＞  
子どもの心を育てる保育の取り組み  
子どもの理解を深める

千葉県匝瑳市公立保育所

匝瑳市立豊和保育所 主任保育士 嶋田 純子

匝瑳市立吉田保育所 主任保育士 八木 直子

匝瑳市立豊栄保育所 保育士 増田 美友紀

保育所の概要

豊和保育所	定員	60名	現員	41名	職員総数	11名	設立年月日	昭和46年11月1日
吉田保育所	定員	60名	現員	39名	職員総数	12名	設立年月日	昭和48年6月1日
豊栄保育所	定員	60名	現員	65名	職員総数	16名	設立年月日	昭和49年7月1日

設置市区町村概要

人口 37,709人 保育所数 公立(4) 私立(7) 計(11)

1. はじめに

匝瑳市は、平成18年に八日市場市と匝瑳郡野栄町が合併し誕生しました。豊かな自然と歴史、文化が調和した地域です。また、植木の産地でも有名です。匝瑳市には、4つの公立保育所があります。保護者や地域の人々と子育ての喜びを共有し、連携を図りながら子育て支援に努めています。

2. 設定理由

- 子どもを見る目を養いたい
- 職員の共通理解を図りたい

「子どもを見る目を養いたい」ということで、正規職員・嘱託職員・臨時職員が経験年数に関係なく、対等に話し合いができ、語り合うことで共通理解を図れるものは何か。職員の関係作りができるエピソード記述がよいのではないかと。子どもをよく見ていないとエピソード記述を書くことができない。エピソード記述を書くことは子どもを見る目を養っていくことにつながっていくのではないかと考えた。

3. 取り組み

- ままごと遊びを通して、エピソード記述を語り合う。
- 異年齢児と関わって遊んでいるままごと遊びを通して、エピソード記述を書く。

#### 4. 学 び

##### ●エピソード記述を通して

- ・職員間で語らいが増え、互いの保育観を知ったり、共通理解が図れるようになってきた。
- ・語り合ったことで、子どもの気持ちの読みとりが少しずつができるようになってきた。
- ・子どもの気持ちの理解を深めていくには、継続していくことがとても大切であり、子どもの心を育てていくことに繋がっていくと思った。

●ままごと遊びを通して様々な決まりやコミュニケーション、生活の基盤を養うためにとても良い経験であったと同時に、保育士の関わりの重要性がわかり、今後もエピソード記述を通して子ども一人ひとりの気持ちに寄り添っていきたい。

#### 5. おわりに

今回の研究を通してエピソード記述に取り組み、ひとつの遊び、一人に焦点をあてたことで様々な心の動きが見えてきた。また、語り合うことで職員の共通理解を深める事ができた。研究的視点を持って保育に取り組むことにより、新たな気づきが生まれ仕事への意欲が上がり、保育が楽しくなった。

記録をすることによって「こんな考えがあるのか」「こう読みとれるのか」子どもの理解・援助の振り返りが深まり、保育者として成長することにつながったのではないかと思った。

#### 今後の課題として

1. 園内研修を行うことで子ども一人ひとりを見つめ、個の心の発達状況を知ると同時に問題点を職員間で共有しながら、解決に向けていき保育所全体での質の向上に努めていく。
2. 今後もエピソード記述を通して語り合うことを続け子どもの心を読み取っていきたい。
3. 子供の生活や育ちをこれまで以上に意識して保育にあたっていきながら子どもが自ら考えて行動するための環境を整えていく。